運営方

法

コミュニティ

め

1 班

コミュニティ の在り方

現在の自治会に必要 なこと、不必要なことを 整理して解決する

コミュニティ形成の基本は自治会活動にある(みんなが快く参画できる自治会になるよう努力していくことが大事)

地域コミュニティの新 たな構築が望まれる

自治会があるのに、コミ協が必要なのか、みんなで考える必要がある

テーマコミュニティと 地域コミュニティを融 合するものとは?

コミュニティの役 割を明確にする

> 縦と横のコミュ ニティで分類

コミ協役員と自治会役員 の兼任は避けるべき

毎年、自治会役員のなり 手がいないと聞くが、全体 に募集している?行事を 縮小することも考える

自治会の班割と役員 の持ち回り制度、毎月 の集会に疑問あり 自治会役員に若手住 民を登用し、新しい感 党で運営していくべき

自治会役員の閉鎖的な 感じを受けることがある (気軽に参加できない)

市の審議会などに、会長などが形式的に参加するのが問題(自治会全体に募集をかけるべきでは?)

地方自治のあり方 特に財政と行政サービス

自治会加入を積極的に 進め、みんなが行事に 参画できるようにしたい

自分ができる役 割を果たすべき

住民の価値観の多様化により1つの自治会をまとめるのは大変。活動を限定すればよいのでは?

財政問題は、真の 自治問題である

新住民ばかりの地域と古い地域との生活状況の差が大きい(商店、病院、交通、道路整備など)

家族構成、年齢、職業 等はまちまちなので、平 等な参加は難しい

新住民、特に若い人 は自治会参加を嫌 がる傾向にある 議会

市議会議員制度改 革、直接民主主義と の融合を望む

子ども

子どもたちの住教育(ふるさと意識、新しい公共)

子ども会(育成会) のリーダー育成 子どもから始 める自治教育 コ

ユ

ニテ

み

んな

 \mathcal{O}

創意で

進めよう

親睦・交流を図る

地域の人たちとの交流がほとんどない

地域住民との接 点がないため共 通の目的がない

地域のつながり

住民が地域コミュニティ の必要性を共通認識と して持つことが大事

安心·安全

安心・安全のまちづく りに自治会が中心となって活動していく 安心・安全の確保ー 行政に頼らず、でき ることは地域でやる 2班

運用の改善

目的別行政サービス を基本に自治会のあ るべき姿を考える

自治会の運用規 則を改善する

自治会の恒例事業が多い ので簡素化した方がいい

生活の安全(登校、独居老人)の 見守りのため自治会を発展させる

年代格差や年代 による担当業務 の見直しを図る

自治会の風通しの 悪さを改善する

しない人が多い

若い人は自治会に入会

各地区の運営差 を改善する

旧町村の名残である現在の区 割り制は改善するべきでは?

コミュニティを 5 地区に統合、 独立した組織とし、自分たちの ことは自分たちでやる

コミュニティの課題

自治会の必要性

昔の「向こう三軒両どな

り」にはしてほしくない

公民館単位で市民の要求 に基づいたコミュニティが あるが、働く人のための 「もの」が不足している

> 審議会等に選出されている 自治会長やコミ協の会長な どの発言がほとんどないの は問題では?

自治会は、住民が仲良く 親密になることで防災・防 犯、子育て、ゴミ問題など 生活全般が住みよくなるた めに活動するべき

> 自治会はもう少し地 域のための活動をし てほしい(活動不足)

自治会の規則(キマリご と)にある程度の強制力 も必要ではないか

その他

負担をみんなが行 い、明るい社会建設 を推進する

自治会は困ったと きの相談所(理想)

その他のコミュニティは他 の地域との交流のために 有効的に活動するべき

- 13 地区センターの積極的活動の発展
- 子育て支援センターの設置
- 高齢者の話し合いのできる場所づくり

日本国民の法令遵守意 識の向上が求められる

市民の意識向上

地元親睦というが地元 が信頼に値するか極 めて疑問

各家庭の共通意識 をいかに醸成するか が難しい問題である

防災

ご近所の底力

子育て

防





